



2024-2025年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーのマジック

THE MAGIC OF ROTARY



写真提供: 山中真穂会員

Rotary  **倉敷南ロータリークラブ**
国際ロータリー第2690地区第7グループ 創立Jul.7.1961
〒712-8051 倉敷市中畷6丁目6-17

第 2978 例会 R. Song 「我等の生業」 天候：晴れ No.2978/2024. 10. 11

Guest なし Visitor ロータリー米山記念奨学生（くらしき作陽大学）ファム トゥイ リン様

出席 会員数 61名（うち出席規定免除者 16名@2名①14名）

10/11の出席率 66.67%（出席者 34名、内①6名）

欠席 浅見、馬場、井手、石本、栗元、三宅(典)、三宅(繁)、中川、沼本、奥山、
関家、滝川、渡辺(英)、渡辺(清)、山本(英)、横田、伊藤、各会員（17名）

●和田一朗会長

・こんにちは。本日の卓話の「イニシエーションスピーチ」は、その人となりや趣味や普段のお仕事といった色々なお話しを通じて、この場におられる会員の皆さまとの親交を深めてもらう為に非常に重要なプログラムとなっております。あともう一つの視点で、歴の長い会員の方は、現会員の方々とのタイムラグも生じて参ります。私見ですが、今後その方々に同様に卓話の機会がもてたらと思います。

【ファムトゥリンさんよりご挨拶】先日、ロータリーの地区大会に参加してとても大規模な会場で多くの人で驚きました。最初から最後までいろいろな方のお話しを聞くことができ今後の参考になりました。本当にありがとうございました。

・【会長の時間】皆様に御礼を二つ申し上げたいと思います。まず、先週の日曜日に第 2690 地区の地区大会が岡山ドームで開催され、ご参加の皆さまには誠に有難うございました。榊原地区ガバナーの「未来への架け橋を作ろう」というスローガンをもとに RI 会長代理の四宮様の基調講演、デザインストラテジスト太刀川氏の記念講演「変化を生き残る進化思考」、若者たちトークセッションでの発表がございました。二つめは、10月2日に地区補助金事業「空飛ぶ車で描く未来航路」を実施。子どもたちの笑顔を見ていただくとこの事業を開催してよかったと思っております。当日ご参加ご協力いただきました皆様大変有難うございました。

●幹事報告(青井幹事)：10月のRレートは142円です。他来信10件。

●親睦家族委員会(亀岡委員長)：10月のお誕生 馬場、浅見、安藤、佐藤、中西、

小野田、永井、山本(由)、各会員 8 名 ●友 10 月号の記事紹介 (小野田委員長)

●スマイル報告 (佐藤 S. A. A) ※紙面の都合上、内容を一部割愛しております。

- ・和田会長、三宅(繁)副会長、青井幹事、井上社会奉仕委員長、佐藤 SAA：先日の地区補助金事業に関わられた皆様有難うございました。MASC の皆様にも感謝して。
- ・プログラム委員会 和田、石田、大段、馬場、各会員：小林純一様のイニシエーションスピーチを楽しみにしています。
- ・小林会員：①本日イニシエーションスピーチをさせていただきます。②妻の誕生日のお花を有難うございました。
- ・和田(務)会員：妻の誕生日に素敵な花を有難うございました。
- ・寫田(晴)会員：妻のバースデイにお花を有難うございました。
- ・河原会員：8/24 和田会長杯ゴルフで優勝。お陰様でハーフ 38 点の人生初スコア。
- ・山本(由)会員：①9/29 ロータリアンテニス大会に 15 ペア参加のもと楽しくテニスをさせていただきました。②システムプロダクト瀧岡様のご入会を歓迎して。
- ・佐藤会員：大段様へ 10/10 岡山県医師会産業医実施研修にご協力有難うございます。
- ・山本(真)会員：地区大会にご参加の皆様、岡山ドームの熱い中で大変お疲れさまでした。

●プログラム卓話 イニシエーションスピーチ 小林純一会員

- ・生い立ちですが、昭和 42 年生まれ出身地は新見市、次男として生まれました。小学校 4 年生のときに香川県に転校。ですがなかなか馴染めなくて岡山に帰らせてもらいました。岡山に帰ってからは尊敬していた父親の影響で卓球人生が始まり、学校もそのまま卓球で頑張っておりました。大学を卒業後、社会人として岡山に帰って来て、倉敷化工に入社。ここでも工場勤務が苦手ということがわかり、営業をやってみたいというのがそのときに芽生えて、転職させていただいたというのがその後のエピソードとなります。営業研修で感銘を受けた話法として断られた時の反対話法で「とおっしゃいますと」を真意も分からず使い失敗したこともございます。その後、転勤の話しから岡山を離れたくなくて、別の仕事ということで石屋として起業いたしました。
- ・会社の概要ですが、設立は 2004 年、有限会社石のこばやしです。従業員 10 人ぐらいでやっております。拠点としては 4 拠点ございまして、倉敷、総社、玉野、霊園の管理っていう形をさせていただいております。
- ・お墓の話ですが、遊びを通じて墓石が何の石か言い当てることができるようになった。江戸時代ぐらいから一般市民の人たちが持てるようになった。個人墓や夫婦墓、先祖墓などがある。現在では墓を作るよりも墓じまいのお話しの方が圧倒的に多い。日本で一番よい石は庵治石であり、昭和 40 年代がよく採石できた時期。お墓参りの作法として、お墓の前はご報告する場所です。

例会プログラム予定:10月25日(金)ポリオに関する卓話 卓話者は調整中 / 11月1日(金)
卓話 ①クラブ年次総会・クラブ協議会 ②ロータリー財団について 三宅(典)R財団委員長